

昭和初期の児童数の推移

年度	尋常科	高等科	合計
昭3	三二〇	六三	三八三
5	三二七	七三	四〇〇
10	三四二	八四	四二六
15	三二五	九六	四二一
20			四四二

昭16・4

長谷村国民学校と改称する。
昭和十六年十二月八日太平洋戦争が始まり、校名も長谷村国民学校と変わった。国民学校を卒業すると、軍需工場に就職する者、満蒙開拓青少年義勇軍としてお国のためにささげていく者等々。当時の学校日誌によると、出征兵士の見送り、英霊の出迎え、村葬、防空演習などの記事が多くめだつ。

昭16・12

相撲土俵場屋根が完成。

昭16・12・8

太平洋戦争に突入。国民あげて非常時体制下に入る。そのために、学校の教育方針も大きく変貌。

- 1、皇道の道に則り、国民の基礎的練成をはかる。
- 2、皇運扶翼の魂の育成、盡忠報国。
- 3、銃後教育（勤労奉仕、兵士歓送、英霊出迎、慰問文等）
- 4、戦力増強教育（食糧増産、荒地開墾、松根油採取等）
- 5、防空訓練

昭17・1

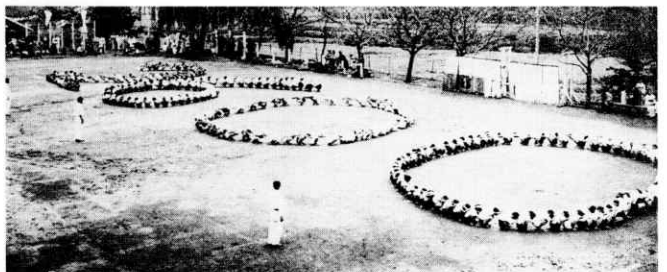
二宮尊徳像除幕

通知票

昭和十七年度

大野郡長谷村国民学校
初等科第三學年
大塚 幸喜

▼昭和15年 運動会 — 2600年の人文字—



▶国民学校時代の通知票

(物資節約の折として小型化している)